

おつけもの慶21周年カップスポーツニッポン杯争奪戦

FI



9/29(日) 30(月) 10/1(火)

GIRL'S KEIRIN

ナイター開催

川崎スポーツ

レース展望

9月29日から開催される川崎ナイターはおつけもの慶21周年カップ・スポーツニッポン杯争奪戦として行われるFI開催。S級・A級ともに東日本は北日本・関東・南関の三地区、西日本は中部・近畿の二地区で構成される。ガールズケイリンを含めて1日12レース。

S級戦は各地区にそれぞれ好選手が揃ってV争いは激戦。北日本からは8月FI戦3連覇を決めた大森慶一(北海道88期)が参戦し、特に当地決勝ではバック最後方から直線だけで大外を一気に突き抜けたレースは記憶に新しい。機動力健在の渡邊一成(福島88期)や自在脚冴える佐藤一伸(福島94期)との関係か

ら、3日間、鋭いキメ脚を發揮する。関東勢では群馬コンビが一歩リードで、カマシ得意な小林泰正(113期)に巧者木暮安由(92期)がマークしてワンツースを目指す。南関勢は徹底先行根田空史(千葉94期)が追加出走となり、地元松坂洋平(89期)や川越勇星(111期)との関係から上位食い込みを狙う。遠征勢はタテヨコ何でもこなす川口聖二(岐阜103期)や積極的な走りでもキメキメ頭角を現している福永大智(大阪113期)が参戦して今開催を盛り上げるはずだ。

A級戦は機動パワー十分な荒木貴大(埼玉115期)を主力に推す。今年に入り決勝進出

をほとんど外さない成績を挙げており、優勝5回・準優勝4回と抜群の安定感。久々のホームバンク出走で気合の入る佐々木和紀(117期)や前期S級の自在型飯田憲司(静岡96期)辺りとV争いを演じるだろう。

ガールズではパリ五輪出場から、平塚オールスター決勝2着に入った太田りゆ(埼玉112期)が断トツの存在。世界で戦って来たスピードをフルに發揮して他を寄せ付けぬ走りを見せるだろう。鈴木美教(静岡112期)・山口伊吹(長崎116期)・那須萌美(宮崎114期)のライバルたちを力でねじ伏せて3連勝が濃厚だ。

S1実力者中心に激しいV争い

S級
主力選手



松坂洋平 神奈川 89期

今シリーズの地元の中軸となるのは松坂洋平。今年は競走得点を下げているが数字以上の存在感がある。目標不在なら迷わず自分で戦うことを選択し、まだまだ捲り程度の自力は健在。川崎・平塚・小田原にかかわらず地元戦には減法強く頼もしい走りを見せる。

S級
主力選手



大森慶一 北海道 88期

8月当地の優勝が記憶に新しい大森慶一が早くも登場。キレ鋭い追い込みは直線外伸びるこのバンクに向いている。8月のF1の3連続Vに向日町記念優出と勢いが止まらない。練習方法を変えたことにより好調の要因らしく、目標の有無に関係なく突っ込みそうだ。

S級
主力選手



小林泰正 群馬 113期

今年の前半はGI初優出を果たし、6月には地元記念初Vを達成し大ブレイクした小林泰正だが、腰痛やケガによる影響で大ブレーキ。オールスターの欠場も余儀なくされる状況だった。前回宇都宮でも復調の兆しは見られず、今シリーズで復活の糸口を探したい。



A級
注目選手

佐々木和紀
神奈川 117期

自力自在に戦う佐々木和紀は父親(龍也・引退)譲りのハンドルさばきで、レース巧者ぶりを發揮している。自力基本に強気に位置を主張する場面も多く見られ、S級で活躍する兄2人の背中を追いつ昇級を目指す。地元戦でしっかり結果を残し弾みを付けたいところ。



ガールズ
注目選手

太田りゆ
埼玉 112期

パリ五輪に出場後は競技から引退をした太田りゆが、ガールズケイリン一本で再スタート。ナショナルチームで世界と戦ってきた脚力をこの川崎バンクで披露する。この開催をきっかけに残り少ない終盤戦に猛チャージをかけるはず。完全優勝で人気に応えるだろう。

川崎競輪場バンクガイド (2023年10~12月データ)

1年の改修工事を経て、昨年10月からリニューアルした川崎バンク。12月まで363レース(ガールズを含む)を終えた段階の1・2着の決まり手データは表の通り。基本的に構造は旧バンクを踏襲したもので、逃げ・捲り・差し・マークについて、それぞれのパーセンテージは以前と変わりはない。ただし1着に限って言えば、逃げ・捲りの決まり手が54%と過半数越えて、自力型のアタマから組み立てていく車券戦術が可能だろう。川崎名物イエローライン付近の強襲コースは、バンク改修により最終4コーナー走路をスムーズに回ってくるようになり、前団選手の失速が少なくなったため、今のところは出現率がそれほど高くない印象だ。



競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル